

清水小 校長室だより No.18

2019. 9. 19(木) 文責：筒井

ただいま！ 6年生修学旅行から帰校

小学校生活最大イベントである修学旅行が無事終了し、昨夕全員元気に帰ってきました。



今日は6年生は代休でお休みです。子ども達も先生達もきっと家でゆっくりしていることでしょう。

出発前に「天気は私に任せてください。みなさんは、一人一人の体調管理をしっかり整えて、全員でいっぱい思い出をつくってきましょう。」と話していたのですが、3日間とも秋の青空に恵まれました。子ども達には、行事ごとに「私は天気男です。」と話しているので、今回もバッチリです。

6年生全員が参加し、旅行中大きく体調を崩す人もなく、全行程を子ども達も職員もほぼ元気に過ごせたことが何よりうれしかったです。(鼻血、腹痛、疲労等は少しありました。)

旅行中自分たちで決めたことをしっかりと守り、全員でいい修学旅行ができたと思います。

旅行の振り返りでは、バスの中でそれぞれが今回の修学旅行について話しました。

ガイドさんは「話をしっかり聞いてくれて、返事もできて、清水小の子ども達はとてもいいですね。」と子ども達を褒めてくれました。

ほぼ予定どおり午後6時半頃到着すると、たくさんの保護者や家族・職員が迎えてくれました。子ども達もバスの中から、「迎えがいっぱいや。」とうれしそうでした。有り難うございました。

学校で解散式をして、すみれさんの感謝の言葉で、修学旅行を締めくくりました。

子ども達が帰って1時間ほど経って「もう全員無事に家まで帰った。」ことを確信して、私たち修学旅行団も解散して、帰途につきました。

引率した先生方、お疲れ様でした。私以外は夜も仮眠程度で子ども達を見守ってくれました。

学校に残った先生方も、しっかり留守を守ってくれて、有り難うございました。

今朝、校長室の窓から「あっ帰ってきちよる。」とたくさん子ども達が声をかけてくれました。

修学旅行が終わりました。一息つく間もなく、すぐに陸上記録会に向けて朝練・夕練が始まります。文化展、音楽交流会…まだまだ行事が続きます。子どもも先生も ふぁいと オー！

修学旅行 つれづれなるままに

その1

子ども達への注意や指導が少なかった。

全員がいつも時間に遅れる事もなく、話もしっかり聞け、挨拶もできていた。メモもよくとっていた。



(マツダスタジアム 9/16)

(担任からはまだまだとの声もあるが…)

その2

子どもどうしのトラブルがなかった。

夜の班長会では、班行動での勝手な行動が出されていたが、自由を愛する子どもとそれを注意し見守る子ども、どちらも許容範囲がちょうどいい感じだった。居心地のいい集団だなあ。

その3

今年は引率した6名で、LINEグループをつくり、常に情報交換をした。自由行動中も写真付きで「今、ここです。」との情報が届き、より子ども達の把握ができた。時代は進化している。

その4

疲れた、しんどい、ねむたーい そんな声をほとんど聞かなかった。ただし、「腹へったあ」はよく聞いた。こちらはうれしい声だ。

その5

食事はバイキングが多かったが、大食と小食の二極化傾向が見られた。朝から炭酸ジュースとケーキを主食に選ぶ人も…。バイキングは、こちらは楽だが、課題も。

その6

今年の新コース『倉敷美観地区』。子ども達には結構評判が良く、来年もコースに入れた方がよいとの意見が多かった。一部「5年生は、川に入って白鳥と遊ぶので危険だと思う」の声も。

ようこそ先輩 教育実習中

教職を目指す者にとって、必ず必要なのが教員免許。教員免許の取得には、教育実習が義務づけられている。私も30年以上前に母校で実習した。

始業式の日から2名、先週から1名が実習に来ている。メインの学級は3年1組、4年2組、5年1組(給食センター)。それぞれ指導教官の下で、子ども達と過ごしている。他の学級の授業も観ながら、実際に授業も行う。

高知県の教育界は、今大きな世代交代の時。ぜひ、高知で教員の道を歩んでくれることを期待している。3人の皆さん、ぜひたくさん子ども達とふれあって、楽しく有意義な時間を過ごして欲しい。

ちなみにもう来年の教育実習の予約も2人来ている。

◎秋の交通安全運動です 9/21~9/30